

★ ラインナップ ★

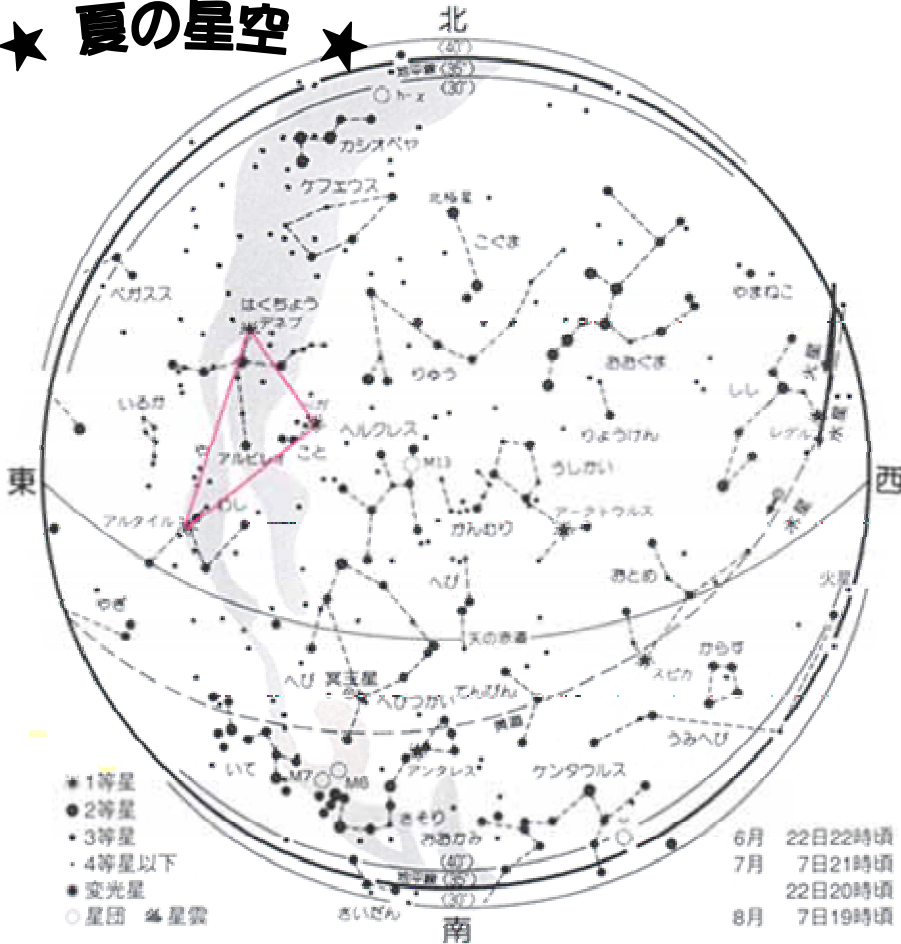
夏の星空

流れ星をみよう！

人気度 No.1 正義はどっち？ てんびん座

2004・ことしの夏も博物館で遊ぼう！

★ 夏の星空 ★



梅雨が明けるといよいよ夏本番！皆さんの夏の楽しみは？海水浴にキャンプ、夏祭り、花火大会、ビアガーデン（お酒は二十歳になってから！）...、いろいろありますね～。そのなかに、スターウォッチングを加えてみてはいかがですか？出かけた先や帰り道、夕涼みをしながらちょっと夜空を見上げてみてください。そこにはたくさんの星々が輝いているはず。一年中で最も雄大に流れる“天の川”や夏の星空を彩る星座たち、それに星団・星雲といった見所たっぷりの星空、簡単にご紹介しましょう！

スターウォッチングの第一歩は、明るい星を知ることです。夏の夜空を見上げると、頭の上のほうに明るい3つの星が輝いて

います。そのなかで一番明るいのは「こと座」の《ベガ》。七夕の“織姫星”といったほうがおなじみですね。お相手の“彦星”は、天の川をはさんで南東にある「わし座」の《アルタイル》。よく見ると両側に小さな星を従えています。もう一つの明るい星は、天の川のなかで輝く「はくちょう座」の《デネブ》。デネブとまわりの星がつくる十文字を、翼を広げて飛ぶ白鳥の姿に見立てたのです。これら3つの1等星、ベガ、アルタイル、デネブがつくる大きな三角形は『夏の大三角』と呼ばれ、夏の星空の目印となります。

夏の大三角が見つかったら、今度は南の空に目を向けてみましょう。大きなSの字に並んだ星たちのなかで、赤く明るい星が輝いています。この特徴ある星の並びは「さそり座」と1等星の《アンタレス》。さそり座の東隣には、北斗七星に似た星の並びが目印の「いて座」があります。

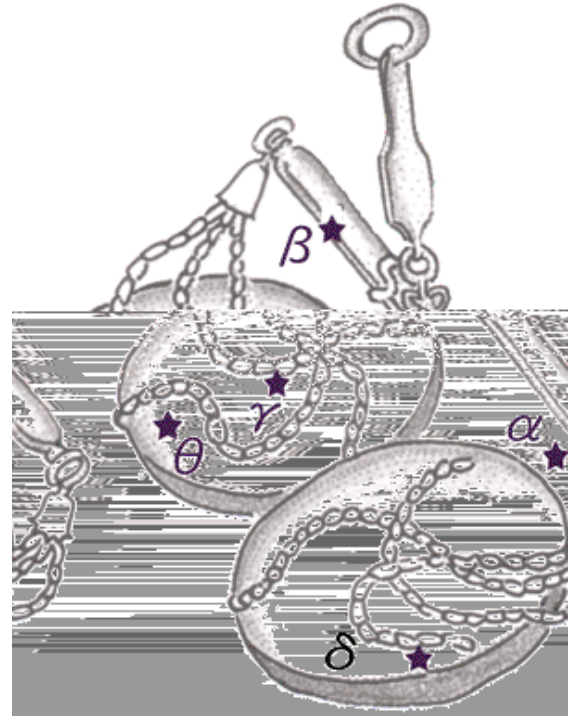
さてこの夏、海や山など夜空の暗いところで星空を眺める機会があるなら、ぜひ“天の川”を見てみましょう！一年中で最も見ごたえのある夏の天の川は、北の空から南の地平線あたりまで、淡い光がまるで川の流れるように広がっています。最近、街灯りの影響でほとんどお目にかかれぬこの光景、必見です。

夏はスターウォッチングを気軽に楽しめる季節。難しく考えないで、夜空を見上げてみてください。思いがけない星空に出会えるかもしれませんよ！

人気度 No.1 正義はどっち？ ～てんびん座～

あなたの一票で決まる『人気星座ランキング』、当館のイベント展示として昨年からの投票をいただきました。集計の結果、今年ナンバーワンに輝いたのは... なんと“てんびん座”!! 昨年に続き2連覇を達成しました。でも、てんびん座って一体どんな星座なの？ ちょっと見てみましょう。

てんびん座というと黄道12星座として、今でも星占いなどでおなじみですね。もちろん古くから伝わる由緒ある星座なのですが... 実は、もともとさそり座の一部だったのです。その名残を星の名前に見ることができます。てんびん座の星《ズベン・エル・ゲヌビ》と星《ズベン・エス・カマリ》は、それぞれ“南の爪”、“北の爪”という意味があり、ここにさそり座の大きなはさみが描かれていたのです。紀元前2～3世紀頃、蠍の大きなはさみをもぎと



って、てんびん座が誕生しました。これは、秋分の日には太陽が位置する秋分点がこのあたりにあったことから、昼夜の長さがつりあうというイメージで天秤の姿が描かれたといわれています。

さてこの天秤、神話では隣にいるおとめ座の持ち物として伝えられています。正義の女神アストレイアが持つ、この世の善悪を裁くための天秤を夜空に思い描いたのです。

てんびん座の見つけ方という...、おとめ座の足元、さそり座の両方のはさみにはさまれるようになります。3等星以下の星々がつくるあまり目立たない星座で、天秤の姿を想像するのはちょっと難しいようですが、それでも1等星の《スピカ》と《アンタレス》のちょうど中間あたりに目を向けてみると...3個の3等星がつくる“く”の字を裏返した星列が見つかります。てんびん座をつくる主な部分で、これが目印となります。

最後に一つ問題！ 黄道12星座をよ～く思い出してみてください。おひつじ、おうし、ふたご...何か気付きますか？ そう！ 12星座のうち、唯一てんびん座だけが生き物の姿をしていない星座なのです。知ってましたか？

★ 流れ星をみよう！ ★

夏の夜空はみどころがいっぱいですが、そのなかでも注目したいのが、ペルセウス座流星群です！ 夜空にすーっと流れる流れ星を見ると、なんかちょっと得したようなうれしい気分になりますよね。でも流れ星ってホントに星なの？ 落ちてきたときにぶつかったりしないの？ 今回はそんな流れ星のお話です。

流れ星とは...

たくさんの星たちの合間を、すーっと流れていく光。空が暗くてきれいなところだと、こんな光を夜空のあちこちで見ることがあります。これが流れ星です。流れ“星”というからには、夜空に輝いている星たちが流れているように思っている人もいるかもしれませんが、実は流れ星の正体は、宇宙に浮かんでいる塵たち。これらが地球の大気圏へ突入してくるときの速度は、なんと秒速数10kmと超高速！ ...なの

で空気との摩擦で光って、たくさんの流れ星として見えるのです。

流星群とは...

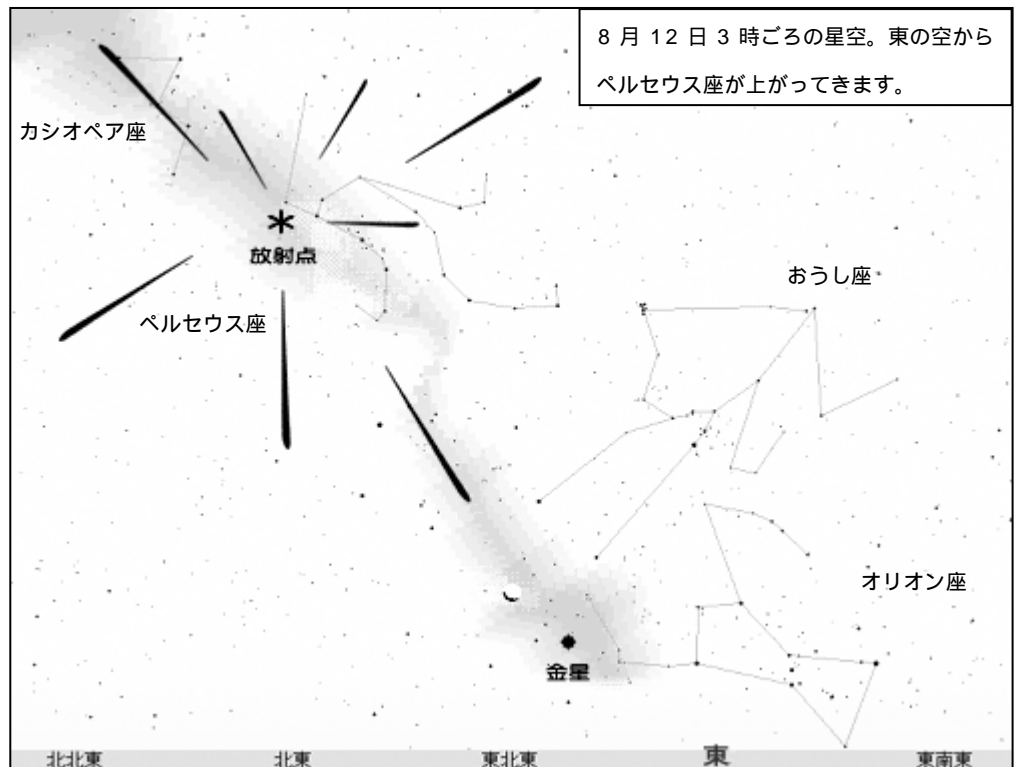
またある時期になると、たくさんの流れ星が見られることがあります。みなさんもきっと「座流星群」とか、聞いたことがありますよね？

太陽系の果てからやってくる彗星の通り道(軌道)には、彗星が残していった塵がたくさんあります(そういえば彗星は塵や氷でできた雪だるまでしたよね? 詳しくは前号参照)。なので、地球が塵でいっぱい軌道に突っ込むと、たくさんの塵が地球に降ってきます。それで群れをなすようにたくさんの流れ星が見えるのです。この流れ星たちは、夜空のある一点から降ってくるように見えることから、その点がある星座の名前をとって、「座流星群」と呼んでいます。例えば、ペルセウス座流星群は、ちょうどペルセウス座から降ってくるように見える流星群です。また数年前、11月18日に雨のような流れ星を降らせたしし座流星群は、ちょうどしし座の頭のあたりに放射点(流れ星が出てくるように見えるところ)があります。

ペルセウス座流星群をみよう

さて夏といえばペルセウス座流星群です。毎年、8月12~13日にかけて、1時間あたりに20~50個

もの流れ星を楽しませてくれます。今年は新月直前なので、月明かりも少なく、観望には絶好のチャンス! また流れ星を見るには、望遠鏡や双眼鏡など、道具はいっさい要りません! 放射点がある方向を中心に、空を眺めていればいいんです。この時期、ペルセウス座は夜中の0時過ぎに東の空から昇ってきます。12日と13日の明け方、ちょっと夜更かしして、夏の星たちの間を流れる流れ星を楽しんでみませんか?



News! カッシーニが土星へ到着!

7月1日(日本時間) 約7年間の旅を経てカッシーニが土星軌道へ到着しました! アメリカの NASA/JPL のホームページでは、次々と、土星や衛星の新たな画像が公開されています。いったいどんな発見があるのか? 夏は、カッシーニから目が離せないぞ!

HP: <http://saturn.jpl.nasa.gov/>

< 編集後記 >

待ちに待った夏! でも早くも夏バテ気味。夏休みに向けて、ちょっと疲れを癒してようかな...。 tomo

夏を頑張っって乗り切るために、ひとあし早く、海を満喫してきました。...が、もうすでに禁断症状が! むむむ。 Yumi

2004・ここの夏の夏も博物館で遊ぼう!

プラネタリウム『一番星見〜つけた』6/12〜

夏といえばスターウォッチング! 夏の夜空は美しい天の川や星座たち、星雲や流れ星などみどころがいっぱいです! 番組では、高原にキャンプにやってきた兄妹が、望遠鏡で星空を楽しみながら、さまざまな星情報をはじめ、星座早見盤の使い方などもご紹介します。ぜひこの夏は、海や山で本物の夜空を眺めてみませんか?

放映時間: 10:30、13:30、15:00 (約40分)

(都合により時間が変更になる場合があります)



工作教室1『マイ望遠鏡で暗号探し!』

日時: 7/31(土) 13:00〜(約1時間30分)

内容: 望遠鏡組立キットで自分の望遠鏡をつくろう! 作った後は、その望遠鏡で館内に隠れている暗号を探します。

参加費: 材料費(2500円 入館料含む)

対象: 小学生中学年以上 事前申込み必要

(定員15名: 7月17日より受け付けます)

工作教室2『ステラスコープをつくろう!』

日時: 8/7(土) 13:00〜(約1時間30分)

内容: 身近な材料を使って、筒型の星座早見盤(ステラスコープ)をつくろう!

参加費: 材料費(1000円 入館料含む)

対象: 小学生中学年以上 事前申込み必要

(定員15名: 7月17日より受け付けます)

『昼間の天体観測会』

日時: 8/1〜8 開館時間ならいつでもOK! (ただし晴天時のみ)

内容: 太陽や昼間に見える金星を望遠鏡で観測しましょう! また望遠鏡に投影板をつけて、太陽黒点のスケッチもできます。

備考: 晴天のみ実施。申込み不要。

参加費不要(ただし入館料必要)

* 通常の太陽観測もできます

プラネタリウム特別放映

『星になったラリー』

日時: 8/21(土) 14:30〜、15:45〜

内容: プラネタリウム体験講座「アストロクラブ」のメンバーが作ったオリジナル番組『星になったラリー』をお届けします!

(放映時間約20分)

申込み: 不要 見学も無料です

国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館

特別公開日イベント! 今年のテーマは『星の光を集めよう〜望遠鏡のしくみ〜』

日時: 8/28(土) 9:00〜17:00

内容: 望遠鏡だとなぜ遠くの星が良く見えるの? などなど望遠鏡の不思議や仕組みを大公開! そのほか、観測所の最新の研究紹介および施設紹介のほか、博物館ではプラネタリウム、太陽観測、工作コーナー、星座・天体ビンゴゲーム、クイズラリーなど、子供向けイベントも盛りだくさんです! くわしくはホームページを見てね。

申込み: 不要 観測所・博物館共に無料公開

この博物館通信は、岡山天文博物館が作製しています。次回 秋号は、9月発行予定です。

岡山天文博物館 浅口郡鴨方町本庄 3037-5 TEL・FAX 0865(44)2465 休館日: 月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ <http://www.rweb.ne.jp/astro/index.html>